

I 第38週の発生動向 (2014/9/15~9/21)

1. ヘルパンギーナについては、東地方+青森市管内で警報が解除されました。

II 第38週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	(90)	インフルエンザ													0					
小児科	(79)	RSウイルス感染症				2	0.2			1	0.2	1	0.3	4	0.1	-1				
	(80)	咽頭結膜熱			2	0.2	1	0.1						3	0.1	2				
	(81)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.1	6	0.7	11	1.1			1	0.2	1	0.3	20	0.5	-10		1	0.1
	(82)	感染性胃腸炎	21	2.6	4	0.4	19	1.9	3	0.6			11	2.8	58	1.4	0		21	2.6
	(83)	水痘	6	0.8	2	0.2	5	0.5	4	0.8			8	2.0	25	0.6	10		6	0.8
	(84)	手足口病	1	0.1	2	0.2									3	0.1	-9		1	0.1
	(85)	伝染性紅斑	1	0.1	7	0.8	6	0.6			4	0.7			18	0.4	-4		1	0.1
	(86)	突発性発しん	3	0.4	5	0.6	4	0.4	1	0.2	5	0.8			18	0.4	-4		3	0.4
	(87)	百日咳									1	0.2			1	0.0	-1			
	(88)	ヘルパンギーナ	11	1.4	4	0.4	2	0.2			4	0.7	4	1.0	25	0.6	-61		11	1.4
(89)	流行性耳下腺炎	1	0.1									1	0.3	2	0.1	-1		1	0.1	
眼科	(91)	急性出血性結膜炎													0					
	(92)	流行性角結膜炎			1	0.3								1	0.1	0				
基幹	(97)	クラミジア肺炎													0					
	(98)	細菌性髄膜炎								1	1.0			1	0.2	1				
	(100)	マイコプラズマ肺炎										1	1.0	1	0.2	-2				
	(101)	無菌性髄膜炎													0					
	(82)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)													0					

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前1人、八戸3人、五所川原1人、上十三1人 (2014年計:274人)

IV 病原体検出情報

() 内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・上気道炎患者(咽頭ぬぐい液、7/15~7/24)・・・ライノウイルスA: 弘前(1)、八戸(1)、コクサッキーウイルスA4型: 弘前(1)
- ・下気道炎患者(鼻汁、7/11~7/24)・・・ヒトメタニューモウイルス: 弘前(2)、ライノウイルスA: 弘前(1)

感染症の窓

水痘 (五類定点把握疾患)

みずぼうそう

平成26年10月1日から、
水痘ワクチンが定期接種となります。

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染による感染症で、一般に水疱瘡(みずぼうそう)としても知られています。飛沫、飛沫核、接触感染で感染し、潜伏期は2~3週間です。軽い発熱、倦怠感、発疹で発症し、発疹は紅斑から始まり、2~3日のうちに水疱、膿疱、痂皮の順に急速に進行します。

学校保健安全法においては、第二種伝染病に属し、「すべての発疹が痂皮化するまで出席停止とする。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りでない。」と規定されています。発疹出現1~2日前から水疱が痂皮化するまでの7~10日程度が伝染力があるとされています。年齢別患者報告数では、9歳以下での発症がほとんどを占めています(図1)。季節的には毎年12月から7月に多く、8~11月には減少しており、青森県においても、全国と概ね同様の推移を示しています(図2)。

なお、今年10月1日より、水痘ワクチンが定期接種となります。この定期接種は、1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日までの方を対象としています。2回の接種を行うこととなっており、1回目の接種は標準的には生後12ヶ月から生後15ヶ月までの間に行います。2回目の接種は標準的には1回目接種後6ヶ月から12ヶ月まで経過した時期に行うこととなっています。詳しくは、定期接種の実施主体であるお住まいの市町村にお問い合わせください。なお、厚生労働省のホームページでは水痘に関するQ&Aを掲載しています。

(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/varicella/)

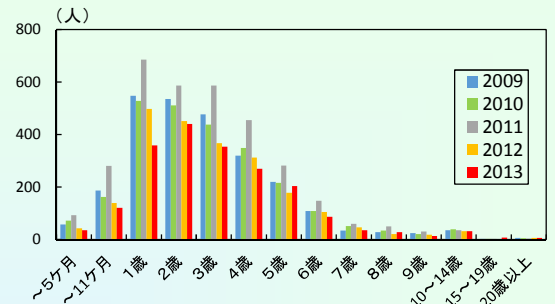


図1 過去5年間の県内における年齢別患者報告数

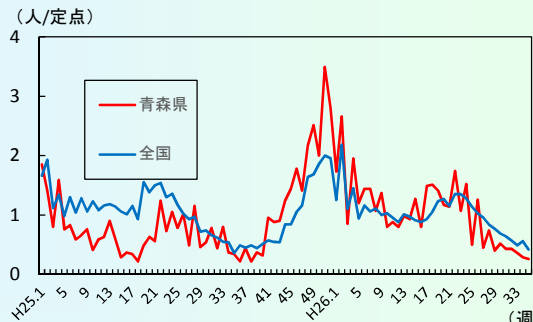


図2 定点当たり報告状況(2013年第1週~14年第35週) (週)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第22週～第38週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵襲性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			
25	H26.6.16 ~ H26.6.22			アメーバ赤痢1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		つつが虫病1人	
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	つつが虫病1人					
27	H26.6.30 ~ H26.7.6		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人		
28	H26.7.7 ~ H26.7.13			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	A型肝炎1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人	E型肝炎1人				
30	H26.7.21 ~ H26.7.27						
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症2人	
32	H26.8.4 ~ H26.8.10	A型肝炎1人 レジオネラ症1人					
33	H26.8.11 ~ H26.8.17	腸管出血性大腸菌感染症4人					
34	H26.8.18 ~ H26.8.24			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人	
35	H26.8.25 ~ H26.8.31						
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	デング熱1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌感染症1人	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21						

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第28週～第38週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
28	H26.7.7 ~ H26.7.13	2		5			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	1	1	4	1	1	1
30	H26.7.21 ~ H26.7.27	2	2	3	1		1
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	3	1	7			
32	H26.8.4 ~ H26.8.10		5	4	1		
33	H26.8.11 ~ H26.8.17		1	4		2	
34	H26.8.18 ~ H26.8.24	2	2	6	1		
35	H26.8.25 ~ H26.8.31	1	2	12	1	1	
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	1	5	3		1	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14	3	3	6	1		
38	H26.9.15 ~ H26.9.21		1	3	1	1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第36週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チカングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マリア
累積報告数	17702	3	73	3127	30	13	102	394	14	7	1	1	1	52	9	114	197	120	1	10	1	42
分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	野兔病	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	
累積報告数	1	8	813	15	763	170	330	82	122	186	1032	42	134	25	1240	8	1126	87	35	277	445	

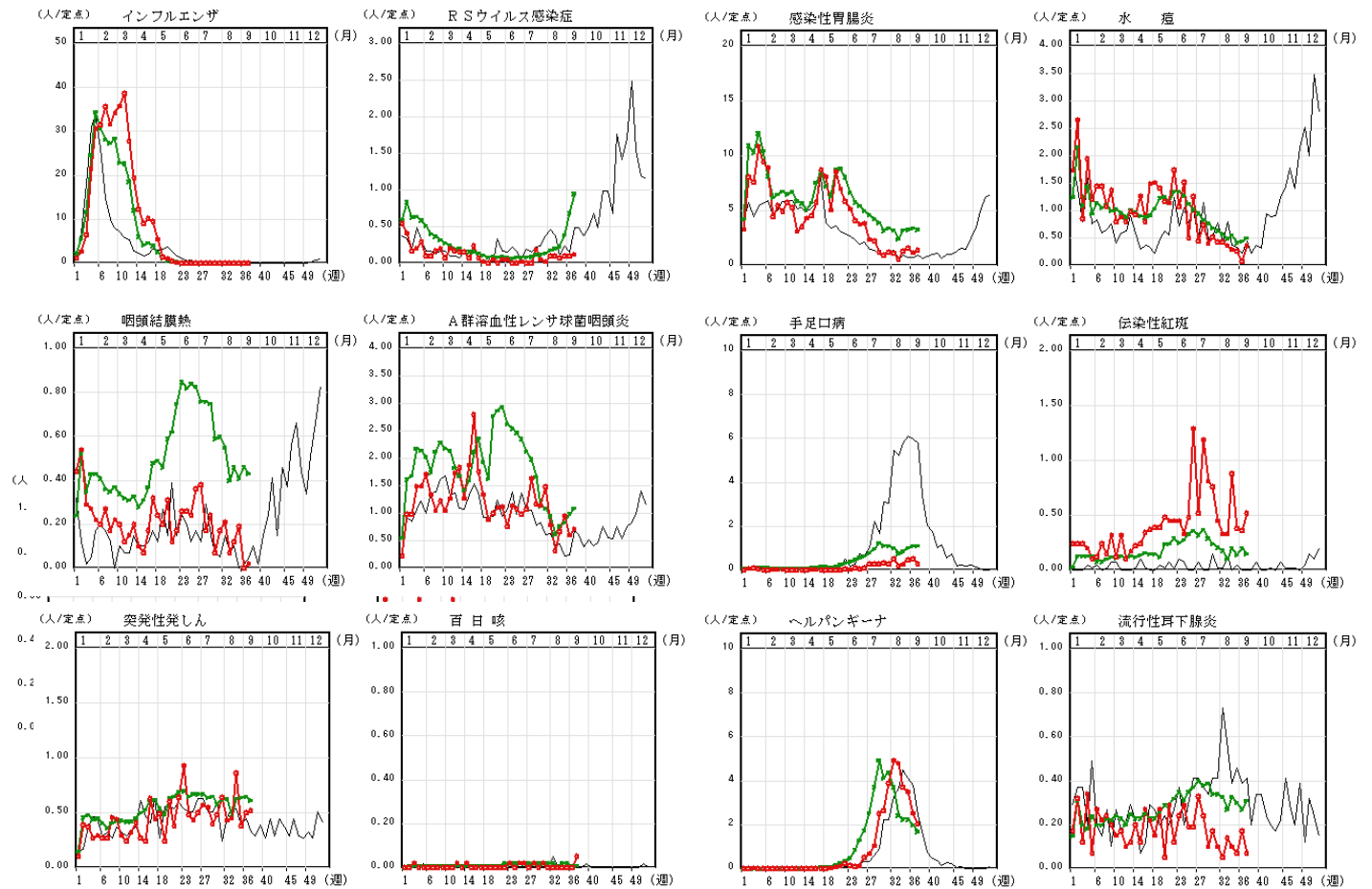
青森県

(2014年第1週～9月24日9:00累計)

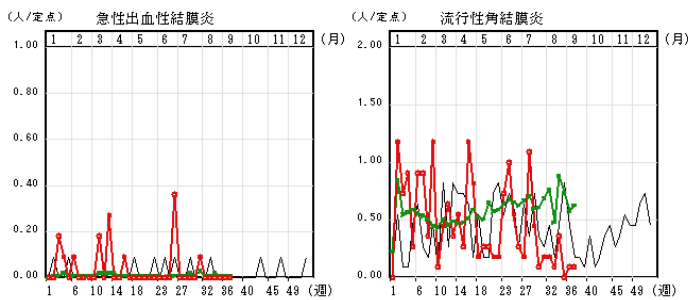
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	
累積報告数	274	15		2	3	10	1	3	6	8	1	1	3	1	6	4	1

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第37週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第37週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第37週)

